

令和元年度

事業計画書
収支予算書

公益財団法人兵庫県科学技術振興財団

目 次

令和元年度事業計画書

I	背景	1
II	背景を踏まえた本年度の事業計画	1
III	科学技術に関する助成及び普及啓発事業	
1.	兵庫県科学技術振興助成金の贈呈	1
(1)	新技術実施化の助成	
(2)	試作試験の助成	
2.	科学技術振興に関する普及啓発事業の実施	1
IV	健全な財政基盤の構築と事務局の運営	1

令和元年度予算 正味財産増減計算書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)	2
-----------------------	---

令和元年度収支予算書内訳表

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)	3
-----------------------	---

令和元年度 事業計画書

I. 背景

経営面で考えると緩やかな回復基調が6年も続き戦後最長と言われている。さらに、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック、大阪・関西万博など明るい話題も多い。しかし、米中貿易摩擦、中国経済落込み、株価乱高下など外乱も多く景気回復は実感できないのが現状ではないか。技術面ではビッグデータ、AI や IOT が大きく取り上げられ、それを活用した生産性向上や革新的イノベーションが注目されている。

中小企業に目を向けると、将来の計画に対して人、モノ、金すべてに充足している企業はないと思います。この助成金制度を足掛かりとして活用し、企業が目指す将来像に近づいていただきたい。研究機関も同様に夢の実現に近づいていただきたい。

そのため令和元年度は周知活動に工夫を凝らし、従来以上にこの助成金制度の認知度向上活動を行う。

II. 背景を踏まえた本年度の事業計画

1. 兵庫県下の中小企業における科学技術の研究開発の発掘と助成を行う。
2. 科学技術の発展と科学思想の普及啓発を図り兵庫県の産業の振興と県民の生活及び福祉の向上に資する。
3. 公益財団法人の遵守事項に適合するよう各規定の整備を行い、安定した財政基盤に立った財団運営に取り組む。

III. 施策1 科学技術に関する助成及び普及啓発事業

1. 兵庫県科学技術振興助成金の贈呈

(1) 新技術実施化の助成

県下における科学技術に関する新技術の実施化に対し、それに必要とする経費を助成する。

(2) 試作試験の助成

県下における科学技術に関する新技術の研究または試作試験に対し、それに必要とする経費を助成する。

2. 科学技術振興に関する普及啓発事業の実施

県民を対象として、科学技術に関する知識及び思想の普及啓発のための講演会実施、並びに協賛または当該事業に必要とする経費を助成する。

IV. 健全な財政基盤の構築と事務局の運営

パンフレットの作成、ホームページの充実、他法人の機関紙などを通じ、事業の周知を図り応募件数並びに賛同者の増加に努める。

令和元年度予算 正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

	A 科 目	B 平成30年度予算	C 令和元1年度予算	D 増減	E 備考
1					
2	I 一般正味財産増減の部				
3	1. 経常増減の部				
4	(1) 経常収益				
5	基本財産運用益				
6	兵庫県縁故債利息	2,140,000	2,140,000	0	
7	特定資産運用益				
8	みずほフィナンシャルグループ社債	28,200	28,200	0	
9	雑収益				
10	受取預金利息	0	10	10	
11	公益事業繰越金	230,000	30,000	△ 200,000	
12	経常収益計	2,398,200	2,198,210	△ 199,990	
13	(2) 経常費用				
14	①事業費	1,844,000	1,644,000	△ 200,000	
15	開発助成金	1,600,000	1,400,000	△ 200,000	
16	委員会議費	12,000	12,000	0	
17	諸謝金	70,000	70,000	0	
18	通信運搬費	48,000	48,000	0	
19	消耗品費	30,000	30,000	0	
20	賃借料	84,000	84,000	0	
21	②管理費	554,210	554,210	0	
22	会議費	100,000	100,000	0	
23	事務委託費	300,000	300,000	0	
24	消耗品費	134,000	134,000	0	HP見直し、周知活動
25	通信運搬費	15,000	15,000	0	
26	雑費	5,210	5,210	0	
27	経常費用計	2,398,200	2,198,210	△ 199,990	
28	当期経常増減額	0	0	0	
29	他会計振替	0	0	0	
30	当期一般正味財産増減額	0	0	0	
31	一般正味財産期首残高	1,761,278	1,962,753	201,475	評議委員会地震で書面にパンフレットを内製
32	一般正味財産期末残高	1,761,278	1,962,753	201,475	
33	II 指定正味財産増減の部			0	
34	受取補助金等	0	0	0	
35	一般正味財産への振替額	0	0	0	
36	当期指定正味財産増減額	0	0	0	
37	指定正味財産期首残高	206,000,000	206,000,000	0	
38	指定正味財産期末残高	206,000,000	206,000,000	0	
39	III 正味財産期末残高	207,761,278	207,962,753	201,475	

収支予算書内訳表

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40	A	B		C	D	E
	科 目	研究開発助成金事業	小計	法人会計	内部取引控除	合計
	I 一般正味財産増減の部					
	1. 経常増減の部					
	(1) 経常収益					
	基本財産運用益 (74.1%公益率)	1,585,800	1,585,800	554,200	0	2,140,000
	兵庫県縁故債利息	1,585,800	1,585,800	554,200	0	2,140,000
	特定資産運用益	28,200	28,200	0	0	28,200
	研究開発助成金資金	28,200	28,200	0	0	28,200
	雑収益	0	0	0	0	0
	受取利息	0	0	10	0	10
	公益事業繰越金	30,000	30,000	0	0	30,000
	経常収益計	1,644,000	1,644,000	554,210	0	2,198,210
	(2) 経常費用					
	事業費	1,644,000	1,644,000			1,644,000
	開発助成金	1,400,000	1,400,000			1,400,000
	委員会議費	12,000	12,000			12,000
	諸謝金	70,000	70,000			70,000
	通信運搬費	48,000	48,000			48,000
	消耗品費	30,000	30,000			30,000
	賃借料	84,000	84,000			84,000
	管理費			554,210	0	554,210
	会議費			100,000	0	100,000
	事務委託費			300,000	0	300,000
	消耗品費			134,000	0	134,000
	通信運搬費			15,000	0	15,000
	雑費			5,210	0	5,210
	経常費用計	1,644,000	1,644,000	554,210	0	2,198,210
	評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	0
	当期経常増減額	0	0	0	0	0
	他会計振替	0	0	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0
	一般正味財産期首残高					1,962,753
	一般正味財産期末残高					1,962,753
	II 指定正味財産増減の部					
	受取補助金等	0	0	0	0	0
	一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
	指定正味財産期首残高	206,000,000	206,000,000	0	0	206,000,000
	指定正味財産期末残高	206,000,000	206,000,000	0	0	206,000,000
	III 正味財産期末残高					207,962,753